



この月報は、当協会が実施している全国100標準小売店（各車種を一通り取り扱う、従業員が3人までの店舗）を調査対象にしている自転車国内販売動向調査の調査結果をとりまとめたものです。全国の自転車販売の基調となる動向を示すものとしてご活用願えれば幸いです。

：全国を9地域に分け、合計で100店舗になるよう各地域に人口、自転車保有台数、自転車店舗数を考慮した調査店舗数を割り当てました。各地域に含まれる都道府県は次のとおりです。
なお調査店舗は年度毎に一部を入れ替えています。そのため対前年比の値は参考値です。

北海道・東北：北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川
 中部：山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
 近畿：三重、滋賀、奈良、和歌山
 中国・四国：鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
 九州：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

北関東：茨城、栃木、群馬
 北陸：新潟、富山、石川、福井
 京阪神：京都、大阪、兵庫

27.9 38.6 2.9 4.3
 1.4 3.6 5.7
 6.4 9.3

[全国9地域 店舗：100]

(平成20年1月)

[単位：台 構成比：%]

車種別	1店当たり販売高							
	本月		前月		対前月比	前年同月		対前年同月比
	台数	構成比	台数	構成比		台数	構成比	
シティ車	3.9	27.9	4.1	24.3	95.1	4.8	29.4	81.3
ホーム車	5.4	38.6	6.1	36.1	88.5	6.1	37.4	88.5
折りたたみ車	0.4	2.9	0.6	3.6	66.7	0.6	3.7	66.7
子供車	0.6	4.3	1.4	8.3	42.9	0.9	5.5	66.7
幼児車	0.2	1.4	0.6	3.6	33.3	0.2	1.2	100.0
マウンテンバイク	0.5	3.6	0.6	3.6	83.3	0.6	3.7	83.3
スポーツ車	0.8	5.7	1.0	5.9	80.0	0.7	4.3	114.3
電動アシスト車	0.9	6.4	0.9	5.3	100.0	0.9	5.5	100.0
合計	12.7	90.7	15.3	90.5	83.0	14.7	90.2	86.4
中古車	1.3	9.3	1.6	9.5	81.3	1.5	9.2	86.7
総合計	14.0	100.0	16.9	100.0	82.8	16.3	100.0	85.9
モーターバイク	0.5	3.6	0.5	3.0	100.0	0.7	4.3	71.4

注：モーターバイクにおける構成比欄の数字は本月販売台数総合計に対する比率である。

(平成20年1月)

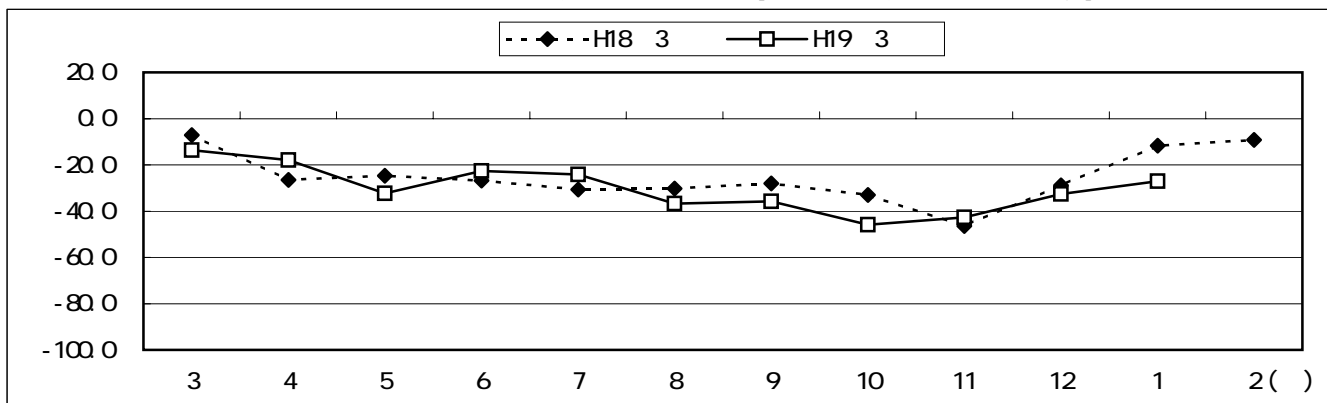
[上段：台数(台) 下段：比率(%)]

車種別 地域(店舗数)	シティ車	ホーム車	折りたたみ車	子供車	幼児車	マウンテンバイク	スポーツ車	電動アシスト車	小計	中古車	合計	モーターバイク
北海道・東北 (14店)	1.9 24.1	3.4 43.0	0.3 3.8	0.1 1.3	0.1 1.3	0.3 3.8	0.3 3.8	0.7 8.9	7.1 89.9	0.9 11.4	7.9 100.0	0.4 -
北関東 (6店)	2.7 17.4	8.7 56.1	0.5 3.2	0.2 1.3	- -	0.5 3.2	0.2 1.3	0.5 3.2	13.2 85.2	2.3 14.8	15.5 100.0	1.8 -
関南東 (20店)	3.2 18.5	8.6 49.7	0.6 3.5	0.7 4.0	0.2 1.2	0.4 2.3	0.8 4.6	1.3 7.5	15.6 90.2	1.8 10.4	17.3 100.0	0.6 -
北陸 (7店)	2.4 42.9	2.1 37.5	0.1 1.8	0.3 5.4	- -	- -	0.4 7.1	- -	5.4 96.4	0.1 1.8	5.6 100.0	- -
中部 (13店)	6.8 38.6	5.6 31.8	0.2 1.1	0.8 4.5	0.3 1.7	0.8 4.5	0.8 4.5	0.7 4.0	16.2 92.0	1.4 8.0	17.6 100.0	0.1 -
京阪神 (14店)	7.1 31.0	7.4 32.3	0.6 2.6	1.4 6.1	0.5 2.2	0.4 1.7	1.7 7.4	2.1 9.2	21.4 93.4	1.6 7.0	22.9 100.0	0.4 -
近畿 (6店)	3.0 30.9	3.2 33.0	0.3 3.1	- -	- -	0.5 5.2	0.5 5.2	0.7 7.2	8.2 84.5	1.5 15.5	9.7 100.0	1.3 -
中国・四国 (10店)	2.9 31.2	2.1 22.6	0.8 8.6	0.7 7.5	0.1 1.1	0.5 5.4	0.8 8.6	0.6 6.5	8.5 91.4	0.8 8.6	9.3 100.0	0.6 -
九州 (10店)	2.8 24.6	3.3 28.9	0.4 3.5	0.5 4.4	0.5 4.4	1.2 10.5	0.7 6.1	0.6 5.3	10.0 87.7	1.4 12.3	11.4 100.0	- -
合計 (100店)	3.9 27.9	5.4 38.6	0.4 2.9	0.6 4.3	0.2 1.4	0.5 3.6	0.8 5.7	0.9 6.4	12.7 90.7	1.3 9.3	14.0 100.0	0.5 -

(平成20年1月)

		車種別	シティ車	ホーム車	折りたたみ車	子供車	幼児車	マウンテンバイク	スポーツ車	電動アシスト車	合計
仕入	本月(台)		6.9	5.4	0.6	0.7	0.3	0.5	1.2	1.0	16.5
	前月比(%)		164.3	96.4	100.0	50.0	50.0	71.4	85.7	100.0	107.1
	前年同月比(%)		100.0	87.1	100.0	100.0	150.0	71.4	150.0	111.1	97.1
在庫	本月(台)		18.5	15.5	3.4	6.2	3.4	3.8	5.5	2.0	58.4
	前月比(%)		120.1	98.7	106.3	105.1	100.0	97.4	110.0	100.0	107.4
	前年同月比(%)		95.9	105.4	91.9	103.3	87.2	86.4	141.0	133.3	101.7
在庫率	在庫/販売(倍)		4.7	2.9	8.5	10.3	17.0	7.6	6.9	2.2	4.6
			16.5	58.4	4.6						

(注) 業況D I = 今後2~3カ月の販売見通しを「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)



平成20年1月

- 営業しているが、お客さんの来店はない日々である。充電期間と思い、今年の販売に対する物の考えを整理する機会になった。お客さんの身近の状況が大きく変化したため、不信と不安を持った人が増え“節約”に尽きると思う。営業し収益を得るためには、本人の性格が変わらないように店格や店の方針は簡単に変化できないと思う。結果、実行できることになった現場主義で“対話”、“説明”、“修理”、“電話”、“()”事を「丁寧に」1年通す。(北海道)

- 例年より雪が少なく、かなり暇な日が続いていますが、自転車のシーズンまではまだ日数もあるので！（北海道）
- ネット販売の会社からクレーム品の修理依頼。中国製の粗悪品ではあるが1000台近くを輸入して、あっという間に完売したとのこと。1台売るのに苦労している当店にとって、何ともうらやましくもあり、驚きの連続。もっと消費者ニーズを勉強せねば…。（宮城県）
- TV、新聞は毎日中国産のギョーザの問題でいっぱい。コストを安くするための手段がこの結果です。自転車も同じことで、人の生命を乗せている以上、安全基準を明確にすべきでしょう。BAAの存在を社会にアピールすべきだし、直接利用者と接する販売店が行動する必要がある。「あなたの生命は1万円以下の物に預けているんですよ。」（宮城県）
- 2月のカレンダーから雪のマークが消えません。地方の経済は冬眠したままです。（秋田県）
- 各メーカー営業社員は入荷に不安ありと同じことを言っています。倉庫と資金のある者が優位とのこと。今年、格差はさらに開くか。単価の予想は4万円台がきびしいのではと異口同音。（福島県）
- 2008年の幕開けです。今年こそはと意気込んでいるところにガソリン値上げ、中国ギョウザ中毒、株価下落、物価の高騰と先行きが大変心配です。春需に向かってチラシの作成やダイレクトメールの原稿など価格の設定等も悩むことが多い今日この頃ですが、健康で仕事ができるよう、今年も頑張っていきたいと思えます。（福島県）
- 正月休みも終え、店を開けてもあまり活気がないので、子供車の中古がたくさんあったので3000円で店頭に並べてみた。アツという間に完売した。販売につながる店頭の工夫。でも今はやっぱり価格でしょうか。（茨城県）
- 1月の売上げ前年比10%増、決して喜べない。よく検討すると電動自転車の売上げが入っているからだ。電動自転車を販売してから売上げの比較があてにならなくなってきた。今年は粗利の前年比を取るようにしたい。2月からタイヤの値上げが始まる。今年は自転車を含めタイヤ、パーツの値上げが何度かあるとメーカーや問屋から話があった。ますます粗利の計算が必要となり、商売も厳しくなっていくと思う。（千葉県）
- 都内のある地域で自転車専用レーンを臨時に作ったところ、かなり走りやすく、歩行者を気にせず走れる安心感で好評のようでした。自転車業界で行政の大きな力を取り入れて、専用道路を少しでも多く作れないものか？ 健康のため、地球環境にも良い乗り物をして楽しもうとする人口はかなりあると思うので、メーカー、組合も力を入れて考えてほしいと願う。（東京都）
- 全国の動向調査を拝見しても、暗い我が業界ですが、大型店にできないことをすればよいのです。例えば、寒い中修理に来たお客様には暖かい飲み物を出すとか、子供さん連れでしたらお菓子をやるとか、一度来店された人に会ったら大声で挨拶するとか、頼まれない悪い所があったら調整する、自転車はやっぱりあの自転車やさんでないと、と思ってくれる努力をしないとだめだと思います。でも高齢者社会です、高望みは危険です。悪いと思えばよくなるよう希望します。（東京都）
- 去年に比べて寒いせいか中旬は全然売れなかった。スポーツ、電動が1割以上売れたのはよかった。（東京都）
- 我々の輪界はなぜ、世間でも客に対しても「弱い立場」なののでしょうか？ 自転車店とは大衆酒場的な、だれに対してもサービスを提供する存在なのか、それとも会員制のクラブなのか。皆さん、空気入れについてどうお考えですか。ここでそのお店の基本スタンスがうかがえると思います。量販店で買った自転車を大きい顔して「空気入れてくれ！」と言う客。そんな客に対応する自分。以前は「そういう客でもいつか自分の客になる、地道に」と思っていたが、最近では本当にバカバカしく思う。生き残りのためにも、そして自分自身のためにもここが本当に悩み処です。（東京都）
- 「ハブダイナモでシングルギア」という要望をよく承る。カタログを見ると、高品質車になるほど該当するものが少なくなる。「標準仕様車（ブロックダイナモ、シングルギア）」と「高機能車（ハブダイナモ、内装3段変速）」の価格差を拡げる傾向は、'08年版カタログでより顕著になってきたように思う。顧客ニーズとの若干のズレを感じるとともに、オーバースペックぎみな方向性もやや気になる。（東京都）
- 先行きが読めない。B社のTVCMも始まった。陳列を考えないと昨年と同じになってしまう。（東京都）
- 昨年1月を見ると販売は下がってる。その分修理で何とかカバーできたが、寒さに左右されるこの業界では2月はまだ下がってゆくのではないだろうか。暇になればお客様との会話を大切にしたいものです。そして春の販売に少しでも台数の増えることを期待し、サービスに努力するつもりです。閉店するのは何時でもできる。販売価格ではどうしても勝つことはできません。ハートで頑張ろう、そんな気持ちの今年です。（神奈川県）
- 当店得意先農村部、中学生通学車巡回セールス活動。ほぼ前年並み販売。引き続き需要期には一般車も訪問セールスにて販売拡大につとめる計画。（新潟県）
- やはり春の通学用のサイクルも、年々ホームセンターのメーカー車が我々が売る価格より安いので売上げは落ちると思います。（福井県）
- 寒い日が続き来客数も少なく、販売、修理もまったくない日が続く毎日です。パーツの仕入れ金額は値上がりするけれど、お客様に対しては修理代金の値上げもしづらく、収入面は少なくなるが生活費は以前と変わらず、蓄えを取り崩している有り様で、春が来るのが待ち遠しく思っています。（山梨県）
- 卒業する中学生の自転車を整備して、下の子供に使わせるという問い合わせが多くなってきました。メーカー車などは長持ちしますので気持ちはわかりますが、物価が上がっても給料は上がらない今日を実感します。（山梨県）

- 修理のみ（長野県）
- 今月から春需要に先行仕入れをして組立てを始めています。メーカー車も価格がだいぶ上がっているの
で、不況の中ユーザーがどのクラスまでの自転車を購入してくれるか少し不安ですが、期待を込めて準備
しています。（長野県）
- 通学車は高価なものが出ました。ホーム車はほとんど出なかった。1月は修理も少なかった。（岐阜県）
- 1月になってから寒くなったこともあり、販売台数と売上げともに悪かった。これから通学時期で儲けよ
うというのに、近くの自転車専門店がまったく利益ナシ（ほとんど赤字）で売り出したので憤りを感じま
す。考えられない値段でビックリします！（岐阜県）
- この欄の目次に「メーカーや卸への要望」と書いてありますが、メーカーや卸の方は少しでも目を通して
いるのでしょうか？ もしそうであるなら少しは回答を聞かせてほしいと思うのですが…。（静岡県）
- 自転車は売れなかった。しかし修理、オーバーホールが多く、売上げはまあまあだった。（愛知県）
- 年々下降線をたどっている感じ！修理も少なくなっている。（愛知県）
- 試飲、試食、試着、車の試乗等々、消費者の納得を売りものにする現代、我々業界では（スポーツ、電動
車を除く）乗ってそのよさを訴える商略がない。もの作りの原点に戻って、値段につりあうガッテンのゆ
くものを考えてほしい。（愛知県）
- 雪がないので修理が多かったです。（愛知県）
- 今年の通学車は、平均45,000円くらいになりそうです。（愛知県）

- 春が来るのが待ち遠しいです（泣）。（京都府）
- 今年のスタートは、まず広告をまくことから始めました。通学車の予約会など、2月末までの広告です。
まずまず反応はありましたが、まだ1月ということで注文をしないでカタログや目で見て考える人が多
かったです。2月にもう一度広告を出し、もうひと押しして頑張っていきたいです。やはりこの商売待っ
ているだけではダメですね！！広告出せば必ず何かある！！（京都府）
- 2008年になって一段と景気が悪いような気がします。安い自転車しか売れないし、2月からはタイヤも上
がりますし、修理代金もどうすればいいのかと思っています。（大阪府）
- 1月後半の売上げ最悪でした。1年トータルと思います不安を感じます。市況の変化を期待するしかな
いのか？（大阪府）
- シティ、ホーム車中心だった昔とはもちろん、スポーツ車中心にしてからもここ数年は繁忙期が変わって
きて、寒い時期が忙しくなっている。（兵庫県）

- アメリカのサブプライムローンで株価も下がり、さらに不景気になるような年の始めだ。中国製品の食の
安全・安心も不安だが、自転車も中国製の粗悪品が多いのが心配だが、中国からの研修生が会社に入り、
その人たちのための自転車が会社納入あり値上げ前の在庫車が売れ、よかった。何か中国絡みの1月だっ
た。（三重県）
- 年末のボーナスを期待していたがまったく動かず。変わり年明けてから忙しくなりました。お客様も年末
は忙しく趣味どころではなかったのでしょうか。（滋賀県）

- 取扱商品の中で一番値上がりしたのはバッテリーで、1年足らずで4回値上げがあり、ついに倍近い金
額になりました。スクーターのもので、定価¥17,325です。（鳥取県）
- 開業以来最悪の月！！話にならない。（山口県）
- 本来ならば、今年こそはという思いで正月早々に開店するのですが、本年は1月4日よりの営業としまし
た。何かしらの意欲を持って店を開けるという感じにはなれなかったのです。この業界に限らずですが、
中国製に振り回されるのが気に入りません。私は右寄りの人間ではありませんが、日本の国を考えた時、
資源のない技術立国の日本がものを造らないのでは、いずれ本当にものを造れなくなり、国力のなくなっ
ていく様子が頭に浮かびます。国内での製造を真剣にメーカーや業界に考えて頂きたいと思います。（徳
島県）
- 1月も暇な日が続いています。こんな時は知識習得、技術向上を目指し、勉強の毎日です。（高知県）

- 期待と願いを持って年越ししたが、厳しさは並ではないようである。販売、部修ともに軽く並の動きで
あった。スポーツ車関係の予約等に明るさを感じながらも、これまた入荷に気を揉むことしきりである。
メーカーは相変わらず十分な動きがとれないようで、受注した車種が揃わないのは何としてもやりにくい
限りである。取り沙汰される近い将来に中国のバブル崩壊や、なかなか簡単にいかない米国経済と、これ
に振り回される日本経済の落ち込みは、国内の政治や諸悪条件と相まって購買力が日増しに衰えるであろ
うし、関係組織の存在すらさらに無用に感じるばかりである。何とかせい！とはいっても、やはり自らを
固めるより他に道はないのである。皆さん頑張りましょう。（熊本県）
- 最近ネット販売で購入し、組立てができず、持ち込むお客が特に増えたように思えます。安いとはいえ
安心安全な自転車に乗ろうとは思わないのかと疑問。（宮崎県）
- 元旦から雪で、その後も2、3日間隔で雨の繰り返し、この業界は天気には勝てません。パーツも少しず
つ値上がりしています。修理代もそんなにはもらえません。私はお客様の予算を聞いて、中古パーツ等で
喜ばれています。（鹿児島県）

(平成20年1月)

(1) 本月の売れ筋の特徴

[単位：%]

価格帯別構成比

車種別 価格帯(円)	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車		
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年
10,000円以下	4.1	4.8	5.4	12.0	10.3	16.0	0.0	5.3	4.8	1.7	0.7	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
10,001～13,000円	7.2	10.9	4.1	14.6	13.1	13.9	20.5	29.8	14.5	0.0	0.0	4.6	4.5	5.3	4.5	3.8	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
13,001～17,000円	6.2	5.6	5.6	14.6	14.3	12.4	13.6	7.0	11.3	10.2	12.7	9.2	40.9	28.1	40.9	1.9	0.0	1.7	2.6	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
17,001～20,000円	11.1	12.6	9.8	11.8	14.6	12.3	4.5	1.8	9.7	20.3	15.5	32.2	27.3	52.6	36.4	0.0	1.7	5.2	1.3	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0
20,001～23,000円	6.7	7.5	6.8	8.6	13.8	10.5	13.6	8.8	17.7	22.0	28.9	31.0	27.3	12.3	13.6	3.8	5.0	5.2	1.3	1.1	1.5	0.0	0.0	0.0
23,001～27,000円	11.4	9.7	12.0	12.5	10.7	12.7	15.9	8.8	9.7	27.1	29.6	13.8	0.0	1.8	4.5	3.8	0.0	5.2	1.3	3.2	4.4	0.0	0.0	0.0
27,001～30,000円	9.0	10.7	7.9	8.4	9.7	10.9	0.0	15.8	3.2	11.9	8.5	3.4	0.0	0.0	0.0	5.8	13.3	10.3	3.9	2.1	1.5	0.0	0.0	0.0
30,001～33,000円	5.7	6.8	4.8	5.2	6.7	3.6	4.5	1.8	3.2	5.1	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	6.7	8.6	2.6	9.5	2.9	0.0	0.0	0.0
33,001～37,000円	11.9	9.7	13.9	8.6	4.1	4.2	0.0	8.8	6.5	1.7	0.7	2.3	0.0	0.0	0.0	3.8	5.0	5.2	3.9	5.3	4.4	0.0	0.0	0.0
37,001～40,000円	8.0	7.3	7.9	1.3	1.6	1.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	17.3	23.3	6.9	6.6	4.2	5.9	0.0	0.0	0.0
40,001～50,000円	14.0	13.8	14.3	1.1	0.5	1.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	7.7	10.0	6.9	17.1	14.7	20.6	0.0	1.1	0.0
50,001～70,000円	4.7	0.7	7.5	1.1	0.7	1.5	18.2	7.0	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	13.3	13.8	22.4	14.7	13.2	14.0	6.6	8.4
70,001～100,000円	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	3.5	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.8	11.7	10.3	7.9	12.6	10.3	69.9	65.9	77.9
100,000円以上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	1.8	8.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	8.3	17.2	28.9	30.5	35.3	16.1	26.4	13.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

フレームカラー別構成比

車種別 フレームカラー	シティ車			ホーム車			折りたたみ車			子供車			幼児車			マウンテンバイク			スポーツ車			電動アシスト車		
	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年	本月	前月	前年
ブラック系	9.2	19.4	10.6	4.3	2.9	3.9	29.4	14.3	34.8	3.4	7.1	3.2	7.1	0.0	0.0	26.1	24.0	35.7	36.7	22.6	27.6	2.8	0.0	0.0
シルバー系	70.8	71.0	71.2	47.8	58.0	59.2	11.8	17.9	21.7	6.9	2.4	3.2	0.0	3.2	6.3	17.4	20.0	14.3	10.0	25.8	13.8	38.9	50.0	57.9
ホワイト系	1.5	4.8	0.0	1.4	2.9	1.3	5.9	14.3	21.7	6.9	4.8	6.5	0.0	6.5	0.0	13.0	8.0	10.7	6.7	19.4	13.8	2.8	6.3	5.3
ブルー系	9.2	1.6	12.1	20.3	26.1	18.4	23.5	14.3	4.3	44.8	52.4	51.6	35.7	29.0	50.0	21.7	12.0	17.9	23.3	9.7	17.2	33.3	9.4	15.8
パープル系	0.0	0.0	0.0	4.3	1.4	2.6	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	2.6
レッド系	4.6	0.0	1.5	8.7	4.3	3.9	5.9	10.7	13.0	0.0	4.8	0.0	14.3	6.5	0.0	0.0	4.0	10.7	6.7	3.2	10.3	5.6	3.1	7.9
グリーン系	0.0	0.0	1.5	0.0	0.0	2.6	0.0	17.9	4.3	0.0	2.4	6.5	0.0	6.5	0.0	0.0	4.0	3.6	3.3	3.2	10.3	11.1	3.1	2.6
イエロー系	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0
オレンジ系	1.5	0.0	0.0	2.9	1.4	1.3	5.9	0.0	0.0	3.4	2.4	6.5	0.0	3.2	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6
ピンク系	0.0	0.0	0.0	5.8	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	17.2	11.9	3.2	35.7	45.2	25.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	2.6
2色以上・その他	3.1	3.2	3.0	4.3	2.9	3.9	17.6	3.6	0.0	13.8	11.9	16.1	7.1	0.0	0.0	13.0	24.0	7.1	13.3	16.1	6.9	5.6	15.6	2.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(2) 今後2～3カ月間の販売見通し

[単位：%]

区分	好転	横ばい	悪化	業況D I
本月	11.5	50.0	38.5	-27.0
前月	9.5	48.4	42.1	-32.6

(注) 業況D I = 「好転」と回答した販売店(%) - 「悪化」と回答した販売店(%)

